



仙台市議会議員 岡部 恒司

仙台市議会活動レポート

令和2年第1回定例会報告

仙台市議会令和2年第1回定例会は、2月7日から3月12日までの会期で開会されました。

第1回定例会では、総額5410億8800万円の令和2年度当初予算、68億9700万円を減額する令和元年度補正予算など議案55件を可決いたしました。

懸案としていた「宿泊税」に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、宿泊事業者への影響が大きく、県でも条例案を取り下げることとなったため、市でも取り下げることとなりました。

今回のレポートは「自由民主党」の代表質疑と答弁の要点、令和2年度の一般会計予算、仙台新規事業の一部を掲載いたしました。

是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

自由民主党代表質疑抜粋

市政運営に臨む 気構えについて

質問 郡市長就任直後の定例会においての印象と、2年を経た今日で

は「君子危うきに近づくか」という印象を強く感じる。

取り組むべき市長の積極性がどうしても感

じ取れない。市長の心境は変わられてしまったのか所見を伺う。

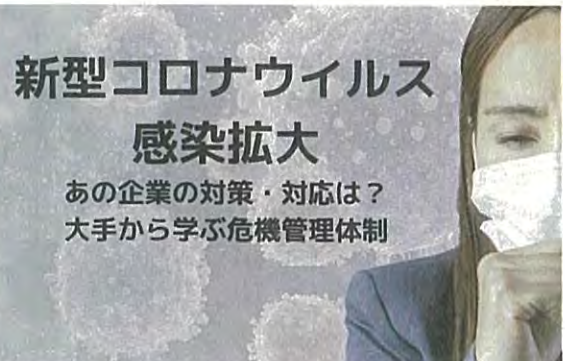
答え 少子高齢化により人口減少の局面が目の前に迫る中、仙台の未来を切り開いていくためには未来志向の取り組みに挑戦していくことが重要との考えのもと「多様な力で未来を創る、新たな杜の都への挑戦」という主題を掲げ、未来へ向けたチャレンジを大きなテーマとした。

今後直面するであろう、様々な課題に対して、両副市長と十分に意思疎通を続けるとともに、全庁職員一丸となつてチャレンジを続けながら、希望ある仙台の未来へとつなげていきたい。

新型コロナウイルス について

質問 市民の不安を解消できるような適時適切な対応が不可欠だ。当局はどのような認識を持ち、また、もし市内での感染が確認された場合に備え、国からの指示を待つ受け身の姿勢ではなく、不安を抱えた市民により多くの情報提供や発症防止策について発信すべきだ、如何か。

答え 市民の皆様適切な感染予防対策や冷静な対応をお取りいただくために、正確かつ最新の情報を速やかにお届けすることが肝要である。万一の事態が発生した場合にも迅速に対応できるように、医療体制の整備に注力していく。109万市民の皆様への安心・安全を守り出すということが最大の使命であること、肝に銘じ、引き続き全庁一丸となつて対応していく。



質問 市内医療機関の対応と、本市の衛生研究所の機能はどうなっているのか。

答え 関係機関と密接に連携を図りながら適切な医療体制の確保に力を注いでいきたい。感染症対策は、早期かつ適切な対応をするために迅速な検査をすることが重要であり、衛生研究所は市の健康危機管理にとつて大変大きな役割を果たしている。新型コロナウイルスの疑似患者発生時には24時間対応で検査できる体制を構築している。

本市と県にまたがる課題について

質問 両者の連携がこれほど求められていない事はこれまでになかった。まず本市音楽ホールについてだが、立地場所は決定されたのか。報告書が出されてから1年近くが経過した。この間、具体的にどのような検討をされたのか。

音楽ホールは四半世紀の長きにわたり多くの市民が待ち望んできたものだ。市長が決断を下すタイミングではないか。いつまでに、どこに立地決定されるつもりなのか、スケジュールも合わせて伺う。

答え 早期に立地場所を判断し、新年度に基本構想策定に取り組んでいく。生の音源に対する音響を重視した市の音楽ホールに対し、新県民会館は大音量のポップスなどを想定し

- 仙台市音楽ホールの立地候補地
- ① せんだい青葉山交流広場
 - ② 青葉山公園
 - ③ 西公園(市民プール跡)
 - ④ 西公園(市民図書館跡)
 - ⑤ 西公園(お花見広場)
 - ⑥ 勾当台公園(東側)
 - ⑦ 錦町公園



た、総合エンターテイメント施設という方向性の違いがあり、それぞれの施設が相乗効果を発揮できるよう検討を整理し、仙台の街に新しい魅力をもたらず音楽ホールの実現に向けて着実に歩を進めていきたい。

質問 県との調整会議を終えられての市長の素直な感想を伺う。県民会館移転後の跡地の活用は、どのように取り組んでいく考えか。

答え 県民会館が移転した場合の跡地の活用があり方や、本市のまちづくりへの影響等について知事と協議をしていく所存だ。

質問 交流人口の拡大のための施策を本市が今後力強く推し進めていくためには、新たな財源の確保が不可欠だ。宮城県では今まさに宿泊税の条例案の審議が始まったところであり、本市としても明確な方向性と決断が求められる。現在の検討状況といつ決断をされるのか市長に伺う。

答え 市民意見の募集の結果も踏まえ、3月をめどに報告書を取りまとめる。交流人口拡大のための施策、そして財源の確保の方針を決定していきたい考えだ。

質問 県が先に花火打ち上げ、仙台市が振り回されているように感じる方も多いはずだ。こういった点が市長と知事のリーダーシップの違いに現れていると思わざるを得ない。こちらから策を打ち出して、県を振り回す位のことがあるべきだと思いが、如何か。

答え 私は、新たな政策を展開する上では、市民の皆様や関係する方々との丁寧な対話を重ね、理解を得ながら進める努力を惜しまないことを、自治体の長として重要であると考えている。スピード感とともに丁寧な説明と納得を得ることに努めながら、両者の最適なバランスの上で政策展開を図ることにより、市民の皆様の福祉の向上に向けたまちづくりを進めていく。

東京オリンピック・パラリンピックについて

質問 今年の夏、60年ぶりとなる「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催される。世界中が注目するこの大会は市民が丸となる機会だ。この機会をどのように生かし、どう発信していくのか。仙台市としての主体的な取り組みは、如何か。

答え 復興までのプロセスや、震災経験から育まれた防災文化、そしてこれまでの様々なご支援に対する感謝を世界にお伝えしていくことが重要であると認識している。



質問 パラリンピックは、より多くの市民に障がいのある方々への理解を促し、次世代へとつなげるレガシーをもたらすものと大いに期待している。パラリンピックに向けて競技体験会等が開かれ関心が高まっているが、これを一過性のものとしないうちに、本市としてどのような取り組みを行う予定なのか。

答え 復興までのプロセスや、震災経験から育まれた防災文化、そしてこれまでの様々なご支援に対する感謝を世界にお伝えしていくことが重要であると認識している。



答え 障がいのある方とスポーツなどの活動によるふれあいの場を通じて、互いの違いを理解し尊重し合う意識を育む機会となり、共生生活の実現に大きく寄与するものと考えている。引き続き仙台市スポーツ推進計画の重点的な柱に位置づけ、障がい者スポーツの普及・促進に努めていきたい。

伝統工芸品の製作体験など、東北の魅力を発信していくこととしている。首都圏からの仙台・東北へのインバウンド誘客に着実につなげていきたい。

質問 訪日外国人旅行者は年間で前年比7.9%のプラスになるとの推計もあり、首都圏からいかに仙台・東北への誘客を図るのか、戦略的な取り組みが必要だ。情報発信基地として「東北ハウス」を設置するインバウンド誘客の取り組みについて伺う。

答え 「東北ハウスは」7月18日から8月9日の期間、JR高輪ゲートウェイ駅前に情報発信拠点として設置する。東北の豊かな自然や祭りの大型スクリーンの上映や、日本酒の試飲や

子育て支援について

らの評価を覆す努力をすべきだ、如何か。

答え 新年度から、新たな「すこやか子育てプラン」において、いじめ相談支援窓口の新設や、児童相談所の機能強化を図る。子育て環境の大前提ともいえる、子供の安心・安全の確保に取り組み、皆様のニーズも踏まえながら、より多くの子育て世帯に「子育てするなら仙台」と思ってもらえるよう全力で取り組んでいく。

質問 市民アンケート結果では7分野のうち6分野が3割に届かない低評価となった。中でも実現できていないとの回答が最も多かったのが、子育て支援や教育の分野であり、中学生のいじめ自殺や児童虐待等への対応が不十分であると判断された。市長が力を注いだはずの子育て分野について、こういった評価をいただいているわけだが、市長は新年度こそ、これ



これら窓口の強化により、どんなサービス向上につながるのか。

答え 子ども家庭総合相談件数は増加傾向にあり、子供の養育などに心配や困りごとを抱えている子育て家庭が増えており、要支援児童等への対応を強化するとともに母子保健の充実を図る。

また、これまでの複数の課での窓口対応から、ワンストップでの提供を可能とし、保育や各種手当の業務部門と母子保険をはじめとする、相談支援部分が緊密な連携を図りながら、個々の子育て家庭の事情に応じた質の高い支援を行っていく。

質問 新年度から新たな「仙台市すこやか子育てプラン」がスタートする。様々な課題を抱える子育て家庭に真に寄り添った体制が求められる。

質問 新年度子ども医療費助成予算として事務経費が計上されている。こういったことを目指しているのか。所得制限撤廃ではない理由は、なぜか。対象者拡大は、どの程度を想定しているのか伺う。

答え 所得制限撤廃となると、概算で年7億円程度の扶助費の増額が見込まれるのに対し、今回の緩和は2億9千万円程度の増額となり、およそ9割の子供がこの支援の対象となる。

令和3年10月より所得制限基準額を、年額90万円引き上げ、新たに9800人程度の子供たちが加わる。子育て家庭の経済的負担を軽減し、市民が安心して子供を産み育てることを進めていきたい。

質問 待機児童解消に向けた令和2年度末までの、具体的な整備計画と見通しについてお示しいただきたい。

答え 新たに約650人の定員を確保する予定としている。必要な定員数は確保できる見込みとなっており、令和2年度末の待機児童解消に向け、保育士と人材の確保も合わせて進めていきたい。

若者の視点を施策に生かすまちづくりについて

質問 今回新たに若者にターゲットを絞った「若者版市民協働事業提案制度」を設ける理由について伺う。既存提案

制度とどのような点が異なり、どういう活用を想定されているのか。

答え 現行制度では、前年度に事業提案を審査採択し、事業実施は翌年度としているが、若者の自由な発想をより多く引き出し、チャレンジする意欲に迅速に応えられるよう、単年度内に審査から事業実施まで行う募集枠を設けることとした。

既存の制度では上限300万円としている



市の負担金額を、若者層が行う事業規模を考慮し30万円程度に設定するほか、過去の活動実績や事業費の自己負担を求めないなど要件を緩和している。

質問 良い取り組みだが、メンバーをどのように選出するのか。特定の学校やグループに偏らない工夫も求められ、出された意見をどのように施策にまで練り上げていくのか。改めて若者たちの力を生かしたまちづくりに対する当局の決意を伺う。

答え 今回はワークショップ形式での開催を考慮しており、市内に居住または通学通勤する、18歳から30歳未満の方を公募により30名程度募集し、若者のアイデアや行動力を本市のまちづくりを生かしていきたい。

健康福祉局関連について

質問 介護人材の確保は、



外国人人材の積極的な活用も待ったなしといわれている。人材確保は広域的な課題ではあるが、本市においても独自の取り組みが必要と考えるが、今後の展開を伺う。

答え 県の動向を注視するとともに、他都市の取り組みも参考に、引き続き関係団体と協力しながら外国人人材の活用も含め、効果的な人材確保の取り組みとなるよう努めていく。

教育施策の推進について

質問 新年度では、新たに「コミュニティスクール（学校運営協議会制度）」を導入していくと示された。今も学校評議員や学校地域支援

本部などとの違いを明確にした上で、どう活かしていくのか。また今後の導入スケジュールも合わせて伺う。

コミュニティ・スクールって何？ ～魅力からつくり方まで、お教えします～



本校などとの違いを明確にした上で、どう活かしていくのか。また今後の導入スケジュールも合わせて伺う。

のは学校の実情に応じて実施している。アンケートで把握した事案についてどのような対応をとっているのか。

答え 教職員が児童生徒から聞き取りを行い、その後事実関係を校内で共有し、対応を確認した上で保護者連絡や関係する児童生徒への支援や指導を行なっている。

答え 関係者が育む子供像や学校運営のビジョンを共有することで「地域と共に歩む学校」作りが一層進むと認識している。情報を共有し、幅広く地域の力を結集させることで、豊かな教育環境の創出につながるものと考え、本年4月より先行実施校を募集し、年内に立ち上げることを目指している。

質問 いじめ防止を市政の重要課題と位置付け、対策を進めている中で、いじめの認知件数は減少せず、昨年度は14900件となっている。この状況をどのように

質問 各学校では、いじめを早期に発見するため、全市一斉のいじめ実態把握調査が年に1回11月に、学校独自の



捉え、対策をどのよう
に評価しているのか。

答え 認知件数がここ数年14000件台で推移していることは、学校が積極的にいじめを認知してきた結果である。引き続き、いじめ防止等の取り組みを充実させ、すべての教職員が実践的な内容を学ぶ環境を整える必要がある。学校現場に、本市のいじめ防止条例や基本方針に基づく考え、施策を浸透させ、効果的で実効性のある取り組みを進めていく。

本市の財政運営について

質問 令和2年度予算に
着目すると、財源対策
前の収支差は236億
円と、令和元年に比べ
28億円も悪化している。
市長は行政サービスを
途絶えることなく安定
的に提供していく責務
がある。税収増の取り
組みを進め、中長期的
な視点を持った財政運
営を目指すべきである。

その決意を伺う。

答え 新年度予算では
「多様な力で未来を作
る、新たな杜の都への
挑戦」これをテーマと
して掲げ、本市の未来
を担う若い力を育むた
めの施策や、積極的な
税源涵養につなげるた
めの、都市活力の創出
に向けた予算を重点的
に配分した。

今後とも持続可能な
財政基盤の確立に努め
ながら、復興の次のス
テージに向け希望ある
未来を展望した取り組
みに全力を傾注したい
と考えている。

都心再構築プロジェクトについて

質問 勾当台公園基本構
想について伺う。この地
区では本庁舎建て替え
や、市民広場のある勾
当台公園の再整備、定
禅寺通り活性化など大
規模な事業が既に進ん
でいる。その上に作る
ビジョンとはどのような
ものなのか、具体的な
絵が見えてこない。



ビジョンの狙いや策定
方法、スケジュール等内
容を示していただきたい。

答え 新年度早々に立ち
上げる有識者懇話会の
議論や、パブリックコメ
ントなどを経た上で、
策定中の新総合計画に
も反映できるように年内
のビジョン策定を目指し
取り組んでいる。

質問 都心の賑わい向上
に資する道路空間の再
構築に向け、西公園通
り及び東二番丁通りの
検討を行うとの事だが、
その内容はどのような
ものか。

答え 街の回遊を誘発で
きる、質の高い歩行者
空間を目指し、道路交
通への影響分析や、歩
行の安全性・連続性を
高める工夫や、憩い楽
しめる場所としての空
間活用策などについて
検討していく。

質問 仙台駅西口の広場
化については唐突な印
象を受けた。市は地権
者や開発業者に広場化
の説明をしていて、概
ね好意的に受け止めら
れているとの事だが、
本当にそうなのか。そ
れはどのような説明で
あり、どのような事業
を想定しているのか。

答え 事業者側の都市貢
献としての広場整備も
含め、様々な可能性に
ついて協議を行っている。
青葉通りの広場化も視
野に入れ、具体の事業
計画に関わる協議を進
め、早期に開発事業が
実現できるよう取り組
んでいきたい。

今後、隣接する民間
開発の事業の具体化に
合わせ、広場の進め方
や整備手法、スケジュ
ール等の調整を図りなが
ら実現に向けて取り組
んでいきたい。

仙台駅エリア ～東北の発展を牽引する仙台の顔～



質問 本市の玄関口であ
る仙台駅周辺も度々浸
水しており、特に優先
した対応が必要だ。令
和2年度予算案に事業
が計上されているが、
対策と今後の見通しは
如何か。
答え 仙台駅西口地区等
を対象に、広瀬川に雨
水を放流する新たな雨
水幹線整備に着手する
こととした。令和7年
度の供用開始を目指し
取り組んでいく。

中央卸売市場条例改正について

質問 市場の取引金額は平成3年の2227億円をピークに、昨年の速報値は1428億円、約3分の2と減少傾向にある。卸売業者、仲卸業者、売買参加者等の市場関係者と、開設者である仙台市が共同で市場取引の活性化に向けた取り組みを進めていく必要がある。市場の活性化に向けて今後どのように取り組んでいくのか伺う。

答え 物流や商取引が広域化・多様化する中、安定的な生鮮食料品の供給はもとより、集荷力、販売力の強化や品揃えの充実等を目指す。



市場関係者の皆様の取り組みを促進するなど、競争力を高め市場関係者のみならず生産者や消費者に支持される中央卸売市場を目指していく。

ガス事業民営化について

質問 ガス事業改革が進む中で民営化推進室が今後どのような役割を担っていくのか伺う。

答え 応募事業者との協議や事業継承に向けた準備など、民営化推進室が総合的な調整を行いながらガス事業の民営化を推進していく。

質問 事業譲渡後も市民の安全・安心を確実に確保するため、職員が安心して引き継ぎを行えるよう環境を整える必要がある。民営化にあたって職員はどのような形で引継ぎ業務に従事することを検討されているのか。

答え 本市が新たに財団法人を設立した上で、



知識や経験を持った職員を市職員の身分を保有したまま派遣を行い、財団が事業継承社からの業務の一部を受託する方法を検討している。

質問 引継ぎ期間をどれくらい確保する必要があると考えているのか。

答え 事業継承者が安定的に事業を運営するまで、おおむね5年程度の期間をかけて引き継ぎを行う方向で検討を進めている。

質問 公募条件や選定基準の検討を速やかに進め、市民や地域経済にとつてより良い提案がな

され、民営化が成し遂げられることを願う。市長の所見は如何か。

答え 夏前には事業継承者の公募を開始し、本年度中に優先交渉者を決定できるように委員会を中心に迅速に検討を進め、民営化によって市民の皆様により快適な暮らしが届けられるよう取り組んでいく。

都心の活力創出について

質問 市長は施政方針で、都市の活力創出に関して、柱の一つに「創造と可能性への挑戦」を掲げた。仙台都心再構築プロジェクト第一弾施策の発表後の動向、さらなる民間事業の誘導に向けての取り組みについて伺う。

答え 本施策を公表した昨年7月以降、ビルオーナーや開発事業者等から80件を超えるお問い合わせをいただいたほか、商工会議所や仙台ビルディング協会をはじめとすると、関係20団体

から詳細な制度説明の依頼を受けるなど、施策への関心は非常に高いものと受け止めている。制度の周知や相談体制の充実を図りながらさらなる民間事業の誘導を図っていききたい。

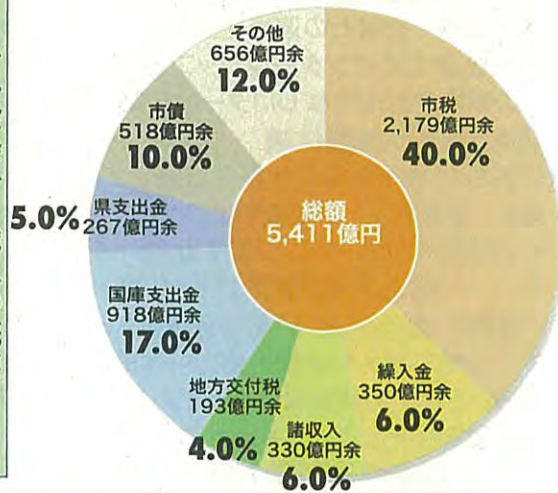
質問 今年度、首都圏などで地方への拠点設置を考えている企業が仙台を選んでいただけに、第二弾の施策に向け、どのような企業をターゲットにどのような方向で誘致策を検討しているのか伺う。

答え 人材確保や災害リスクの分散等といった、企業が事業拡大において有するニーズや課題に対応した公的な誘致策について検討を行っている。

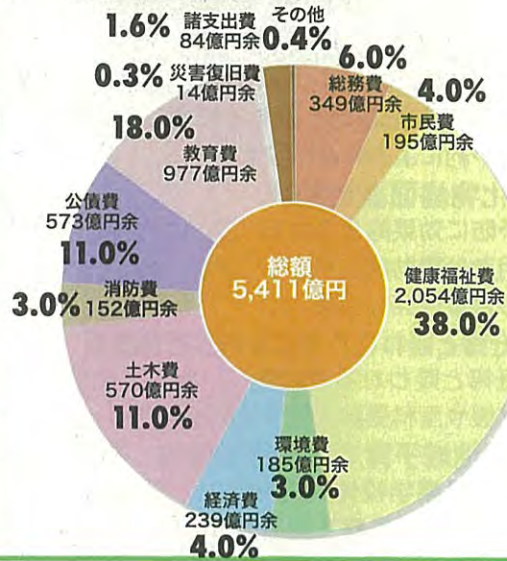


令和2年度一般会計歳入・歳出当初予算

1、一般会計・歳入の概要



2、一般会計・歳出の概要



令和2年度当初予算の概要

- 企業会計を含む全会計は、震災以降、引き続き1兆円超の規模
- 「多様な力で未来を創る、新たな杜の都への挑戦」のもと、「若い力が育ち、活躍するまちへの挑戦」「創造と可能性への挑戦」「自然と共存する防災都市づくりへの挑戦」「暮らしを守る安全・安心への挑戦」「市役所経営への挑戦」に予算を重点配分。

令和2年度 会計別 仙台市予算規模

一般会計	5,411億円 (▽152億円減少)
特別会計	3,064億円 (▽106億円減少)
企業会計	2,313億円 (▽47億円減少)
合計	1兆788億円 (▽305億円減少)

みなさんの声で住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたら
お気軽にお知らせください。

- 仙台市政**に対してのご意見を一言お願いいたします。

仙台市議会議員 **岡部恒司**

お電話でご協力をいただければ幸いです。

連絡先 TEL 022(271)1770

朝8時より夜6時までの時間帯でお願いいたします。

FAX 022(271)1786

令和2年度 仙台市新規事業

いじめ・不登校対策

- いじめ相談支援窓口新設 **789万円**
※いじめに悩む児童生徒や保護者への相談支援のため、法律や心理などの専門家を中心とした相談窓口の新設
- いじめ防止動画コンテスト **300万円**
※いじめ防止に関するインターネット動画を一般から募集し、入賞作品の表彰と公開を行う
- 「杜のひろば」増設 **1,298万円**
※現在市内7カ所に設置している適応指導教室「杜のひろば」について、新たに1カ所増設し、不登校児童生徒への支援体制を強化する

学習環境の充実

- プログラミング教育必修化推進 **2,022万円**
※新学習指導要領の実施に伴い、小学校へプログラミング教材の整備を行う
- 読み書きに困難のある児童の支援充実 **291万円**
※読み書きに困難のある児童のつまづきを早期に把握し、改善するため、多層指導教材を全小学校に導入
- 病気療養児に対する遠隔教育導入 **65万円**
※院内学級がない病院に長期入院する病気療養児に対して、遠隔教育の導入を行う

切れ目のない子育て支援

- 子ども家庭応援センター体制の構築 **21万円**
※各区役所・宮城総合支所に、子ども・子育て家庭に対するワンストップの総合支援体制を構築する

令和2年度 仙台市新規事業（一部抜粋）

切れ目のない子育て支援

- 発達相談事業** 615万円
※5歳児を対象に、セルフチェック表を郵送し、保護者が発達面で心配なことがある場合に、区役所・総合支所で予約による発達相談を行う
- フッ化物歯面塗布助成** 1,078万円
※虫歯予防に効果的とされる、フッ化物歯面と塗布の初回利用を公費助成することにより、低年齢からの虫歯予防の普及啓発を図る。
- 特定妊婦と疑われる者に産科受診等支援** 46万円
※特定妊婦と疑われる者に対し、産科と医療機関への同行支援や産科受診に対する助成を行う
- 児童館地域子育て支援室の整備・運営** 4,374万円
※土曜日や長期学校休業日を含め、児童館開館時間中を通して子育て家庭支援を行うため、児童館10館で支援機能の充実を図る

子供の安心・安全の確保

- 一時保護専用施設の設置** 1,379万円
※児童養護施設において、小規模なグループケアにより一時保護を実施するための措置費の加算及び学習支援委託補助を行う
- 養育費確保支援** 252万円
※養育費の履行確保のため、弁護士相談や家庭裁判所等への同行支援、教育費保証契約の保証料助成を行う

若者の発想を生かしたまちづくり

- 若者版市民協働事業提案制度** 100万円
※若者からの柔軟なアイデア等を市政に反映するため現行の市民協働事業提案制度に新たに若者を対象とした募集枠を設ける

若者の地元定着

- 大学・企業との連携による地方創生推進** 277万円
※地元大学・企業との連携を強化し、大学での学習と地元企業でのインターンシップ等を経て、地元企業への就職や将来的なUターンを促す
- 高校生向け職業体験** 650万円
※高校生が地元企業の仕事を体験できるイベントを開催し、地域産業・企業を知ること、将来の地元企業への就職やUターンにつなげる

都心再構築プロジェクト

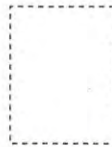
- (仮称) 勾当台ビジョン策定** 500万円
※本庁舎建て替えや市民広場の一体的利活用策、定禅寺通り活性化の検討などを踏まえ、勾当台エリアの新たな方向性を示すビジョンを策定する
- 勾当台公園の再整備方針策定調査** 664万円
※市民広場を含めた勾当台公園の再整備方針の策定に向け、調査・検討を行う
- 都市開発支援事業**
※市街地再生再開発の事業化に向けた地権者が行う計画コーディネート業務に対する支援を行う

中山間地等への支援

- 先端技術を活用した地域課題解決事業** 1,600万円
※宮城地区西部において、ICTやAI等の先端技術を活用し、様々な課題解決に向けたモデル実証を行う

〒981-0933

郵便はがき



9818790

投函される場合は恐れ入りますが、63円切手を貼付してご投函をお願いします。

仙台市青葉区
柏木2丁目4-16-501

仙台市議会議員 **岡部** 恒司 行

※是非ご記入ください。

お名前	様
ご住所	

皆さんの声をお聞かせください！

みなさんの声で 住みやすい仙台を！

市政に関するご意見・地域のお困り事が
ございましたらお気軽にお知らせください。

左記のハガキにてご投函ください。
または、お電話・FAXでも承ります。

仙台市議会議員 岡部恒司

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 2-4-16-501
TEL022-271-1770 FAX022-271-1786

岡部 恒司ホームページ
<http://okabekoji-sendai.jimusho.jp>

岡部 恒司

